2023年度 国土交通省北陸地方整備局

安全管理優良受注者表彰特集

優れた管理体制 活動・教育も他の模範

国土交通省北陸地方整備局は９月11日、2023年度安全管理優良受注者表彰式を開催した。県内企業では松本砂防事務所の推薦で金森建設（大町市）と傳刀組（同市）、千曲川河川事務所の推薦で北條組（長野市）が選定された。

金森建設の金龍虎代表取締役社長（左）

傳刀組の傳刀宗久代表取締役（左）

北條組の北條將隆代表取締役（左）

本制度は安全管理や労働災害防止対策が特に優秀で、他の模範となる受注者を表彰することにより、工事関係者の安全意識の向上を図るのが目的。本年度は22度に完成した工事の受注者321社の中から17社を厳選した。

表彰式で遠藤仁彦局長は「社内の安全管理体制、現場における日々の安全の活動、安全教育の充実など安全管理や労働災害防止への取り組みが特に優秀であり、他の模範になる」とたたえ、災害発生時の緊急対応を含めた地域の安全安心の確保には地域の建設業の力が必要とし「災害に強く、活力ある地域づくりのために引き続きご協力をお願いする」と要請した。さらに「将来の担い手となる若い人たちから建設業に夢を持ち働き先として選んでもらうためには、安全で快適な労働環境を提供することが大前提。日頃からの地道な取り組みに加え、個々の現場に応じた安全対策や環境改善が必要とされるなど大変難しい課題であるが、引き続き率先して取り組んでほしい」と期待を寄せた。

金森建設株式会社

Kanamori

代表取締役社長　金 龍虎
〒398-0002 大町市大町1252番地5
TEL.0261-22-1880 FAX.0261-22-9123

【会社としての安全管理重点事項】

◆安全衛生管理基本方針

「労働安全衛生関係法令をはじめとする諸法令を遵守し、全員参加の安全衛生活動を展開し、労働災害、交通災害、公衆災害、職業性疾病の発生を未然に防止して、安全で健康的な職場作りを目指し、持続可能な開発目的を達成する」

◆安全衛生活動としての目標

安全衛生委員会を発足し、社内パトロールを強化・充実化することで労働災害、交通事故、公衆災害の発生0を目指している。また、効果的な安全衛生教育に取り組み、職業性疾病及び生活習慣病の発症防止を目標としている。

◆社内各部署による重点施策

土木部門の重点施策「作業主任者の職務遂行及び安全衛生活動のDX化」を基に、各種作業計画書で選任した作業主任者に従事者を監視させ、職務を遂行するよう指導している。また、甚大災害時の緊急連絡体制確立と気象状況把握等の情報収集を徹底すると同時にDX化に伴う業務の効率化を図り、周知事象等を迅速に水平展開している。

現場監視カメラの映像

訓練時 LINE による避難完了報告

【現場等における具体的な取組事例】

◆浦川第2号上流砂防堰堤その11工事における安全管理上の課題

日本三大崩れの1つ「稗田山崩れ」直下から土石流を発する浦川最上流部に位置し、浦川流域で施工する各業者との避難連絡体制を確実に統括することが最大の課題であった。

◆課題に対して現場で行った安全対策

工事関係者連絡協議会の会長職に任命され、土石流センサーや監視カメラを設置し、無線連絡の徹底を図り、気象情報の収集やアラートメール機能を利用し情報共有を行った。月1度、協議会各業者との合同避難訓練を実施し、従事者の安全確保を確認した。

ヒヤリハット報告書掲示

下請業者への安全表彰

地域の発展を担う総合建設業

株式会社 傳刀組

代表取締役　傳刀　宗久
〒398-0001　大町市平7840
TEL.0261-22-0312　FAX.0261-23-3411

【会社としての安全管理重点事項】

◆安全衛生方針の遵守

①「安全」と「健康」の確保を最優先し、関係法令及び社内規程等を遵守。
②統合マネジメントシステムの適切な運用。
③職務上の役割に応じて、関係者全員の協力協調の下に、安全で快適な職場環境の維持及び継続的な改善に努める。

◆安全衛生管理システム体制の構築

平成24年に労働安全衛生マネジメントシステムを確立。
また、緊急事態発生時現場が混乱しないよう緊急時対応マニュアルを作成し配備している。

◆社内安全誌『進める安全』の発刊

社内安全活動の起点となる、月刊誌『進める安全』を昭和62年より発刊。
現在(令和5年8月)で436号の発刊に至っている。

社内安全誌「進める安全」

【現場等における具体的な取組事例】

◆篭川1号下流砂防堰堤その2工事における安全管理上の課題準備工において約1500本の伐採作業があった。河川、斜面上（場所によっては斜度30度以上）での伐採、集積、積込作業である為、伐採作業時の安全確保が課題となった。

◆課題に対して現場で行った安全対策

河川、斜面上での伐木、集積作業では、バックホウ用アタッチメント掴み装置の形状は先端が回転しないため木材をつかむことに不向きであり、林業用回転グラップル＋木寄せウィンチを使用し、効率よく安全に作業することが可能となった。

林業用グラップルと木寄せウィンチ

株式会社 北條組

代表取締役　北條 將隆
〒381-0011　長野市村山348-1
TEL.026-244-4347　FAX.026-244-1314

【会社としての安全管理重点事項】

◆労働安全衛生の基本方針…当社の労働安全衛生理念である「経営基盤の安定化を図るとともに更なる成長を目指す」を踏まえ、安全衛生計画を策定している。

◆安全衛生管理体制の構築…安全衛生計画に基づき、労働安全委員会及び工事部門での幹部会議（月1回）の実施、安全大会の実施（年1回）、店社安全管理者パトロール（月2回）、また女性職員・協力業者を含めた安全パトロール（月1回）も実施している。

◆安全衛生年間重点目標（2022年度）…①墜落・転落事故の防止と対策の徹底 ②不安全行動による災害防止 ③通勤時・現場移動時の交通事故防止 ④健康管理の推進

【現場等における具体的な取組（吉島地区堤防強化その1工事）】

本工事は千曲川左岸・小布施町吉島地先における堤防強化工事であり、多数の資材・土砂運搬車両の搬入出があった。荷台を上げたままの走行及びユニック車のブーム格納をしないまま走行することによる架空線・橋桁の損傷事故が懸念された。そのため、現場の出入口部に高さ制限ゲートを設置し、さらにカーブミラーを取り付けて運転手が自ら荷台の状況及び荷姿を確認できるようにした。また小布施橋の橋桁下部に横断幕と三角旗を設置し、接触防止に努めた。このほか、現場作業員や資材運搬車の運転手への注意喚起として大型横断幕を作成し、工事関係者の安全意識の高揚に努めた。

出入口高さ制限ゲート

横断幕・三角旗設置

大型横断幕設置